

## 令和4年度 第1回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月15日（金） 14時00分から15時00分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 会議室
- 3 出席委員 吉岡 久子、桑原 富雄、岡田 正利、中道 達哉、松本 直美、  
山田 詩織、作田 悠佳、平野 岳子、山口 暢子、岸 美香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 川村 寿満（校長）、谷野 幸代（教頭）、清水 大輔（教頭）  
齋藤 隆治（主幹）、酒井 綾乃（CS ディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 協議事項 司会：教頭
  - (1) 会長挨拶
  - (2) 校長挨拶
  - (3) 新規委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付
  - (4) 浜松市学校運営協議会規則確認
  - (5) 議長の選出
  - (6) 前回の会議録確認
  - (7) 熟議 進行：議長
    - ① 学校運営の基本方針について （校長）
    - ② 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (8) 連絡  
〈今後の予定〉

第2回	6月30日（木）	13：30～15：00
第3回	10月 4日（火）	13：30～15：00
第4回	1月31日（火）	13：30～15：00

## 8 会議記録

堀田主事より

数年後がどんな時代になるかわからない現在、子供たちにどんな力をつけさせればよいかと考えると、豊かで多様な学びを形成していく必要があるように思う。そのためには「教育の全てを学校だけで担う時代」からの変革が必要である。これについて、地域・学校が当事者となり、共に考えていかなければならない。

学校運営協議会は、学校運営を支え、強化する取り組みである。委員全員で基本方針の承認をし、熟議を重ねて、子供たちの成長を育んでいきたい。

### (1) 会長挨拶

コミュニティを作る上で、大事なものは地域との連携である。コロナ禍で様々な活

動が制限されるが、子供を地域社会で受け入れ、育てていくコミュニティにしていけるよう、努力していきたい。

(2) 校長挨拶

委員全員の協議会への参加に感謝。今年度も、とてもよいスタートを切ることができた。入学式で保護者に「学校で楽しく学ぶことが一番ではあるが、子供の成長のためには、自分がやりたくないこともやらなくてはならないことがある。この認識を強く持ってもらい、各家庭で子供たちを励まし、送り出してほしい。」と伝えた。要するに「少しのことでもへこたれず、登校できる子供を育てよう」ということ。今年度は「明日も行きたい学校、会いたい友達や先生、受けたい授業」これを、キーワードとし、どの子も楽しく通える学校を目指していきたい。

(3) 新規委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付

堀田指導主事より、山田詩織委員に任命書、作田悠佳コーディネーターに委嘱書が手渡される。

併せて、任期についての説明がされた。

(4) 浜松市学校運営協議会規則確認

教頭より、資料（浜松市学校運営協議会規則）と守秘義務（第12条）について説明がされた。

(5) 議長の選出

本日の議長については、コーディネーターの山口委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(6) 前回の会議録確認

各自で資料の確認をした。

(7) 熟議

① 学校運営の基本方針について

資料（学校経営方針）の説明。予測困難な時代を、しなやかに、たくましく生き抜くための資質や能力を育てていきたいと思う。全職員で子供と向き合い、温かい雰囲気の中にも、厳しさのある学校をつくることで、自立（自律）した子の確立を目指していきたい。加えて、信頼される学校づくりにも、引き続き力を入れていきたいと思っている。（校長）

●「全職員で取り組みたいこと」の中の「言葉遣い」について。社会に出てからも大事なことである。徹底して教えてほしいと思う。（桑原委員）

●何を学び、身に付させるかを考え、実行することが、最も大事であると思う。  
厳しく、そして優しく見守るということが大事だと思う。(岡田委員)

●校長先生の今年度への強い意気込みを感じ、感銘を受けた。この大規模校をどう導いていくかを、具体的に表していただけたと思う。

コロナ禍でできなかった「縦割り活動」を実行したいというのがいいと思う。縦割り活動は、目上の方、先輩を敬うということを学べる。子供のころから、こういうことを学ぶことは大事だ。

マスクをすることが当然という生活は、弊害を起こすように思う。マスクをすることで表情が乏しくなりやすく、表情から子供の状態を読み取ることが難しい。大人の私たちも、マスクで隠れていても、しっかり口角を上げて笑顔でいたい。そして、それが子供たちに伝わっていくといいと思う。(平野委員)

●今年から運動会が再開されることを、家族で喜んでいる。運動会は、練習を重ねる事でクラスの団結力・士気が上がり、子供たちにとって良い経験になると思う。  
(山田委員)

●基本理念の「挨拶・返事をさせる」という「させる」という表現が気になった。子供はもちろんだが、職員も同じ、きちんと挨拶をする。教師の姿を見ることで、子供たちは学んでいくのではないか。

行事の中で「競争」することの大事さを見直してほしい。一つのことを、クラスで団結して成し遂げる。失敗しても、それを乗り越え頑張る。一緒に乗り越える教育をしていく。学習面においても運動面においても、そういったことを考慮して、指導してほしい。(山口委員)

●学校と子供たちの会話を聞いていると、まるで友達のように感じる。先生は「友達ではない」ということが理解できるよう指導してほしい。(桑原委員)

- ② 夢育やらまいか事業に対する意見書について  
夢育の予算について説明がされた。

## (8) 連絡事項

次回は6月30日(木) 13:30から、第2回内野小学校運営協議会を開催する。授業を参観していただくことを予定している。(教頭)

以上、この会議録が正確であることを証します。